

当院職員の新型コロナウイルス感染についての報告（第一報）

今日まで当院では新型コロナウイルス感染防止に最大限の注意を払ってきた結果、水際でウイルスを食い止めることが何とかできていました。この度、ある職員の家族がコロナウイルスに感染したという報告があったため、連休中の検査体制が不十分な中、1月9日から可能な限りの検査等の対応をして参りました。その結果、当該職員ならびにその職員と濃厚接触のあった別の職員1名（計2名）が、PCR検査陽性と判明いたしました。この両名を除き、接触歴のあった職員並びに患者の皆様の検査結果は全て陰性でした。

該当する病棟におけるリハビリテーションなど、感染を拡大させる可能性のある行為は職員の感染が疑われた時点で中止しており、病棟の消毒を実施し、病棟間の人々の動きもない状態にしています。その上で保健所（報告済み）の指導も受けながら、病院を挙げて感染拡大防止のために能う限りの努力をする所存です。

関係各位には大変なご心配をおかけいたしますが、今後もさらなる感染防止と速やかかつ正確な情報開示を徹底するつもりでおります。感染拡大防止とリハビリテーション医療の提供という2つの社会的責務を可能な限り両立させて行く心構えではございますが、このような事態に立ち至ったことを、病院の管理者として深くお詫び申し上げます。また今後も引き続きホームページ上に、最新の情報を更新して参ります。

令和3年1月12日

誠愛リハビリテーション病院・院長 長尾哲彦